

保育所の待機児ゼロ／学童保育育成料値上げ中止 市民の願い実現へ一般質問

8日、日本共産党市議団は、池川友一議員が一般質問に立ちました。その要旨を紹介します。

ひきこもり、ニート、高校中退者の支援を 「関係部署と連携していく」



池川友一市議は、ひきこもり、ニート、高校中退者への支援のあり方について質問。

「形だけの連携」でなく、社会的排除のリスクの連鎖・累積を途中で止めるための包括的・予防的な対応、受け身の相談機能だけでなくアウトリーチをかけていくことを求めたところ「就労支援の前の入り口が大事。関連部署と連携していきたい」と答弁がありました。

耐震促進、防災無線を聞き直す仕組みを

震災・原発事故から市民のいのちを守る対策を求めて質問。住宅耐震化を促進するために、耐震助成を拡大し、耐震化や耐震のための建て替えをおこなった場合に固定資産税や都市計画税の減税を拡大することを求めました。担当部長は「関連部署と相談をして研究していく」と答弁。

防災無線を聞き直すことができる仕組みを求めた質問には、「携帯電話からの通話も含めフリーダイヤルで、聞き直すことができますようにする」と答弁がありました。また、放射能対策の強化を求めて、土壌の測定や食品の測定機器の購入などを質問をしました。中学校3年生までの医療費無料化、小児初期救急の再開、学童保

市議会議員 池川友一

保育料の値上げ中止、認可保育園の増設で待機児ゼロなど、子育て施策の充実を求め質問。

待機児解消に向けては「3年間で851人分の枠を拡大し、地域的な格差をなくしていく」と答弁がありました。

学童保育育成料は、受益者負担の適正化の方針のもとで、月額6000円が1万4000円を超える大幅値上げとなります。「値上げすべきでない」と求めたのに対し、「負担均衡の原則があるが、周辺の自治体も参考にしていく」という答弁がありました。



本日の一般質問——傍聴にお越しください



佐藤よう子 9日(金) 2番目

- 障がいがあっても不自由なく暮らせる町田市を求めて
- 高齢者のくらしを守る市政実現を求めて
- ごみ問題解決のために



佐々木とも子 9日(金) 4番目

- 地域スポーツ政策について問う
- 介護タクシーや福祉有償輸送への利用助成券の創設を求めて
- 自然エネルギーへの転換を促進するために

